

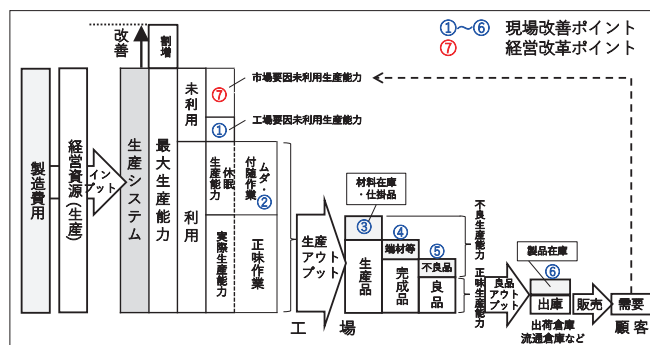
H07 現場改善会計（GKC : Gemba Kaizen Costing）

経営学部・経営学科・教授・柊 紫乃
s_hiragi@aitech.ac.jp

キーワード 現場改善、改善効果の見える化、生産能力、機会損失、管理会計

概要

現場改善は、日本の製造業の強みである。ところが、日々改善が進む企業の方々から「改善してもなぜ業績が良くならない？」「改善活動への評価はどうすればいい？」との疑問が寄せられている。本研究室は、「現場改善会計」に基づき、企業実務にそくした改善効果の見える化を支援する。



ツール例：生産能力展開図（柊 2020）

セールスポイント

1. 現場改善活動の効果や生産能力の詳細を、金額換算して測定・活用できる。
2. 固定費問題等と関わって「すぐに原価低減額として現れない」改善効果についても、機会損失概念の適用により金額測定できる。

企業等での活用例、今後の展望等

1. 現場の生産能力を金額測定することで、改善の重点ポイントを判別できる（A社例）。
2. 見えない効果も把握できることで、部門共通の数値指標を策定できる（B社例）。
3. コロナ禍の下での減産局面においても、余剰生産能力測定により、適正人員配置の実現や、新規投資に代替可能な組織の再編成等を追究できる。

参考資料

- ・ 柊紫乃・上總康行. 2016. 「生産現場の改善と原価計算：改善効果の見える化」『原価計算研究』40(2):72-86.
- ・ 柊紫乃・上總康行. 2017. 「生産現場における改善効果測定と2種類の時間概念」『原価計算研究』41(1): 76-89.
- ・ 柊紫乃. 2019. 『ものづくりの生産性革命』中央経済社(共著).
- ・ 柊紫乃, 2020. 「現場改善会計（GKC）における生産能力の測定方法：実務適用のための試論的考察」『愛知工業大学 経営情報科学』14(2):40-67.